

(別紙1)

## 管理運営状況 評価シート【令和4年度】

(評価日 令和5年6月27日)

### 1 施設の概要

施設名	岩手県民の森
所在地 電話・FAX HP・電子メール	〔管理事務所；森林ふれあい学習館フォレストI (アイ)〕 〒028-7302 八幡平市松尾寄木第1地割515番5 電話 0195-78-2092 FAX 0195-71-1778 HP <a href="http://www.kenminnomori.com/">http://www.kenminnomori.com/</a> 電子メール <a href="mailto:forest@kenminnomori.com">forest@kenminnomori.com</a>
設置根拠	森林公園条例(昭和55年3月25日条例第26号)
設置目的	(設置：昭和44年4月1日) 県民の保健、休養及び森林に対する知識の普及向上に資するとともに、青少年の森林に関する体験的学習による森林愛護思想の高揚を図る。
施設概要	公園面積 約360ha 主な施設 森林ふれあい学習館(延べ1302.79㎡)、木材工芸センター(241.77㎡)、 キャンプ場炊事施設、野鳥昆虫観察舎、機械保管庫ほか
施設所管課	岩手県農林水産部森林保全課 (電話019-629-5797(直通)、メールアドレスAF0012@pref.iwate.jp)

### 2 指定管理者

指定管理者名	公益社団法人岩手県緑化推進委員会
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)
連絡先	〒020-0021 盛岡市中央通三丁目15番17号 電話 019-625-0310 FAX 019-625-0356

### 3 指定管理者が行う業務等

業務内容 (主なもの)	1 施設及び設備の維持管理に関する業務 2 施設の運営、利用に関する業務		
職員配置、 管理体制	8名(常勤換算5名) (R4年4月1日現在)	組織図 別添のとおり	
	(内訳) 県緑推3名、県民の森事務局5名 他、県民の森緑地管理班3名(4月15日～ 11月15日)		
利用料金	森林ふれあい学習館多目的ホール(1時間までごと2,000円)、同ミーティングルーム(1時間までごと1,050円)、キャンプ場(テント1張1日までごと630円)、物品販売等(1人1日までごと530円)、業として行う写真撮影(1日までごと1台ごと210円)、展示会等(1日までごと4,720円)		
開館時間	9～16時	休館日	毎週火曜日、年末年始(12/29～1/3)

#### 4 施設の利用状況（利用者数）

（単位：人）

区 分	前期間 平 均	指定管理期間						備 考
		H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	期間平均	
第 1 四半期	14,078	17,682	18,910	5,679	14,041	15,190	14,300	
第 2 四半期	18,407	24,271	24,969	13,291	11,099	20,384	18,803	
第 3 四半期	64,960	88,960	76,102	44,917	49,860	49,804	61,929	
第 4 四半期	11,650	12,381	12,160	11,186	10,872	20,731	13,466	
年間計（実績）	109,095	143,294	132,141	75,073	85,872	106,109	108,498	
年間計（目標）		140,000	140,000	140,000	77,440	80,500	80,500	

#### 5 収支の状況

（単位：千円）

区 分	前期間 平 均	指定管理期間						備 考	
		H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	期間平均		
収 入	県委託料	25,907	25,608	25,850	26,085	26,085	26,767	26,079	単 位 未 満 四 捨 五 入 の た め、小 計 と 内 訳 の 計 が 一 致 し ない 場 合 が あ る。
	利用料金収入	197	219	294	124	150	204	198	
	自主事業収入	4,224	3,773	4,058	4,191	4,873	5,216	4,422	
	管理事業収入	97	124	144	83	38	5	79	
	その他	67	54	69	67	79	58	66	
	小計	30,493	29,779	30,414	30,551	31,226	32,250	30,844	
支 出	人件費	14,548	14,887	14,450	13,800	15,053	15,268	14,691	
	維持管理費ほか	11,721	11,118	11,907	12,560	11,300	11,766	11,730	
	自主事業費	3,242	2,855	2,885	2,644	4,582	4,623	3,518	
	小計	29,510	28,860	29,242	29,003	30,935	31,657	29,939	
収支差額	507	983	1,173	1,548	291	593	918		

#### 6 利用者の意見等への対応状況

##### (1) 利用者意見（満足度等）の把握方法

把握方法	アンケートボックスを設置し、施設の満足度、展示物の評価、改善点等を記入していただいたほか、行事終了後には行事参加者との意見交換を行うとともにアンケートで意見等をいただいた。	実施主体	公益社団法人岩手県緑化推進委員会
------	----------------------------------------------------------------------------------------	------	------------------

##### (2) 利用者からの苦情・要望

受付件数	苦情・要望：3件 来館者アンケート：21件、イベント参加者アンケート：238件		
主な苦情、要望等	対応状況		
・1階に跳び箱とか遊具が欲しい。「県民の森」という縛りがあるなら、ノコギリ体験とかでもいいので、子どもが2～3時間遊べるようにしてほしい。 1階の展示を2階と3階にもっていく。	・年内の館内リニューアルが進行されており、小さなお子さまが増える予定となっておりますので、今しばらくお待ちください。また、「県民の森」は老若男女問わず、多くの方に利用して頂ける施設となっておりますので、ノコギリ体験を室内で行う事や展示の移動などは難しい為、ご理解ください。		
・子どもの安全の為、テーブルの角を切り落としたほうがいい。	・ご意見ありがとうございます。 コーナーカバーを設置し対応いたしました。		
・靴下で滑り台にのる梯を上ると、子どもは滑って危ない感じがしたので、すべり止めなどをつけるともっと良いと思います。	・県と協議して参ります。		
その他利用者からの積極的な評価等			

**【森林公園アンケートからの声】**

- ・子どもが小さいので、沢山遊んだり、学ぶことができて良かったです。
- ・小さい虫の死骸が沢山あったのでってほしい。
- ・工作体験は素材も多くて楽しい。本の数も多くて大人も楽しい。
- ・雪や雨の日も遊べるので、子どもにはとてもいい施設だと思いました。
- ・入場無料がよい。木工創作体験コーナー、料金安くて良い。
- ・めっちゃ楽しい。また来たい。
- ・また遊びに来たいです。材料が多いのと、これは〇〇の木です、と教えてもらえてうれしかったです。
- ・家族みんなが大好きな場所です。これからも施設がパワーアップして、もっとたくさんの方がきてくれる事を望みます。
- ・小学生の子が楽しめるおもちゃも欲しいです。
- ・子どもが楽しんでいました。大人も展示物に興味津々で見ちゃいました。
- ・全体に木のぬくもりを感じられて良かった。

**【行事参加者からの声】**

- ・解説がとてもわかりやすく、ユーモアにあふれ知らなかった事をたくさんお聞きすることができて満足です。マイクがあったおかげで聞きもらすことはありませんでした。(春の森さんぽ)
- ・ガイドさんの詳しい説明が楽しさを倍増してくださいました。初めてですが、散策がこんなに楽しいと思わず予想以上に嬉しかったです。(春の森さんぽ)
- ・雪の中の観察会面白かったです。貴重な体験でした。(カタクリ観察会)
- ・カタクリの場所を鑑賞という形でもっと多くの人に紹介する機会を設けてはどうですか？説明がわかりやすく良かったです。(カタクリ観察会)
- ・事前を買って眺めていた図鑑ではさっぱり頭に残りませんでしたが、フィールドで見ると断然記憶に残りますね。ヒガラの鳴き声、アカハラ、ツツドリの姿、感動しました。(野鳥観察会)
- ・高齢者に配慮していただき本当にありがたかったです。八幡平の良さを満喫しました。お花や木々の種類がとても多くて感激しました。(新緑の森と七滝さんぽ)
- ・いつも楽しく参加させていただいています。館長さんやスタッフさん等の人柄にふれて自然に親しめて満足しています。ありがとうございます。(夏の森さんぽ)
- ・平日にも企画してほしいです。(大地獄谷登山)
- ・季節を楽しめる企画なので、通年参加しても良いと思います。
- ・今日登ったコースは、ガイドなしで登るのは難しいように感じたので、このイベントに参加できて良かったです。ありがとうございました。(大地獄谷登山)
- ・初めて来ましたが、大変整備されており素晴らしいと思いました。ちょっと遠いですがまた来たいと思わせました。(七滝・魚止めの滝 観察会)
- ・とても楽しかった。普段じゃ経験できないので嬉しかった。(七滝氷瀑・雪だるまつアー)
- ・なんとか参加者全員で完走することができ、大変楽しかったです。所々で木や動物の足跡も教えてくださり、とても為になって楽しかったです。また参加したいと思いました。一緒に歩いてくださったご夫婦には親子共々大変お世話になりました。ありがとうございました。(七滝氷瀑スノーシューツアー)
- ・手ごろな料金で参加できたのでありがたいとおもいました。(七滝氷瀑・巨木ツアー)
- ・木の生命力、治癒力すごいですね。でもやはり守っていかなければですね。(七滝氷瀑・巨木ツアー)
- ・氷瀑にとっても感動しました。自然の雄大さ、神秘、言葉では語る事ができません。ガイドさん、スタッフの皆さま、色々と親切にして下さり感謝しています。(七滝氷瀑・巨木ツアー)

**7 業務点検・評価 (※)**

(1) 業務の履行状況

項目	事業計画、県が求める水準	実績 (指定管理者の自己評価)	評価指標
運營業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用料金が県の承認を受けたものとなっている。</li> <li>・ 施設使用許可等申請の受付・処理体制が適正である。</li> <li>・ 施設利用等料金の徴収、減免、還付等が適正に行われている。</li> <li>・ 利用者に対し、正当な理由</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用料金については、県の承認を受けた項目、内容 (岩手県森林公園条例で定められた金額) で金額を徴収した。</li> <li>・ 施設使用許可は、申請の受付から許可まで、県に提出した管理計画書のとおり適正に行った。</li> <li>・ 施設利用等料金の徴収、減免は適正に行った。なお、学校行事、子供会行事で利用する場合は</li> </ul>	A

	がないのに施設の利用を拒むなど、不当な差別的取扱いをしていない（公共性、公平性の確保）	利用料金を免除している。 ・ 利用者に対し、正当な理由がないのに施設の利用を拒むなど、不当な差別的取扱いはしていない。	
施設の利用状況	・ 過去の実績程度の利用者数を確保している。	・ 令和4年度の利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けた昨年度に比べると123.6%と少しずつ回復傾向となっている。 ・ また、新聞、広報、テレビやツイッターによる施設情報発信に努めた結果、ツイッターのフォロワー数は1330（前年比+577件）と増加傾向にある。	B
事業の実施状況	・ 計画的に行事を実施し、参加者数を確保している。	・ 新型コロナウイルス感染症対策等を徹底して開催し、計画に対し参加者数は8割程度確保することができた。 ・ 行事参加者のアンケートの満足度も高い結果となった。今後も同様な対応を継続して実施していきたい。	B
施設及び設備等の維持管理状況	・ 基本協定に定める維持管理に係る業務が適正に実施されている。	・ 施設管理は作業計画どおりに適正に維持管理したほか、特に園内の森林環境整備管理は、利用者に快適性をもってもらえるよう計画以上に作業を行った。また、山火事の危険性が高い時期は園内放送等で山火事注意の呼びかけを強化した。 施設の清掃は毎日行い、特にトイレは利用者に不快感を与えないよう清掃を徹底した。 ・ 冬季期間は除雪と石油暖房の管理を行い、利用者の利便性を図った。 ・ 法定保守点検及び専門的知識・技術を必要とする業務は委託を行い適正に維持管理できた。 ・ 軽微な修繕は可能な範囲で行い、利用者の利便性確保に努めた。 ・ 備品関係は基本協定書に基づき適切に管理した。 ・ 新型コロナウイルス感染症対策として、遊具やドアノブ等の除菌消毒、体温測定、館内の換気、来館者へのマスク着用及び手指消毒の声掛け等を実施した。	A
記録等の整理・保管	・ 業務日誌、点検記録、整備・修繕等の履歴など各種管理記録等、帳票書類が整理、保管されている。	・ 作成した帳票書類、点検記録、整備・修繕等の関係書類は項目ごとに整理し、保管している。 ・ 業務日誌は作成様式に従って、毎日、学習館、木材工芸センター、園内作業に分けて業務の実施内容を記録、保管している。 ・ 個人情報については、キャビネットに保管し施錠管理している。	A

<p>自主事業、提案内容の実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主事業、提案内容の管理運営、事業等が計画的に行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフミーティングや県民の森管理運営検討会、県民の森運営連絡会議で、事業の進捗、施設管理運営状況、課題と対応策について確認しながら管理運営を行った。 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、開催した行事においては年間を通し事故もなく概ね計画通りの管理運営、年間行事等を行うことができた。(行事参加者および木工教室参加者にかかる傷害保険には全て加入している)木工教室は原則月1回の開催とし、自主行事は年間24回行った。 また、自衛消防訓練(年2回5月、11月)、接遇研修・コンプライアンス研修(4月)もを行い、管理運営上の意識向上を心掛けた。</li> <li>5月開催のさくらまつりや、10月開催の紅葉まつりは、新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、観光協会や近隣宿泊施設等と連携し開催した。</li> <li>近隣宿泊施設等の宿泊者に、県民の森の園内散策や七滝ハイキング等、園内を活用していただいている。</li> <li>緑化推進委員会の企画行事として県民ボランティアによる下刈りは、一般参加者・林業関係者等103名が参加し、下刈作業の他、アジサイ植樹、全国植樹祭用プランターカバー作成を行った。</li> <li>関係各機関への情報提供ツール(テレビ、ラジオ、新聞、広報誌のほかホームページやツイッターの更新)により、施設利用の宣伝に力を入れた。</li> </ul>	<p>A</p>
<p>(施設所管課評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成果のあった点： 計画に基づき適切に施設の管理・運営を行った。 施設利用者数は、昨年度比で123.6%となり、令和2年度から回復傾向となっている。 従来のテレビ、ラジオ、新聞、広報誌、ホームページに加えツイッターでの情報発信を積極的に行った結果、フォロワー数は前年比577件の増となった。</li> <li>改善を要する点： 特になし</li> </ul>		<p>A</p>	
<p>(2) 運営体制等</p>			
<p>項目</p>	<p>事業計画、県が求める水準</p>	<p>実績(指定管理者の自己評価)</p>	<p>評価指標</p>
<p>職員の配置体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識、経験を有する人員が適切に配置されている。</li> <li>職員が仕事内容を十分に把握している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務内容を熟知している職員を5名配置するとともに、県民の森サポーターズの協力も得ながら、管理運営が円滑に行われた。事務所内内勤体制とHP更新等広報面の強化、及び木工センター利用者に対する対応強化を行った。</li> <li>緑化推進委員会本部が管理事務所と連絡を密にし、行事等で業務多忙の時は本部から職員を派遣した。</li> </ul>	<p>A</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有資格者としては、防火管理者（甲種）を配置している。</li> <li>・ なお、開催行事の内容によっては専門的な知識を要するため、スタッフの研修も兼ね外部講師を招き対応した。</li> <li>・ 職員は自主的に研修会に参加するなど自己啓発につとめており、その知識や情報が日常業務において十分に発揮されている。</li> </ul>	
苦情、要望対応体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苦情・要望等の受付・処理体制が整備されている。</li> <li>・ 苦情・要望等への対応が適切である。</li> <li>・ 職員間の情報共有が適切に行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケートボックスや行事アンケートを実施している。</li> <li>・ アンケートボックスや行事アンケート又は口頭で受付けた苦情・要望等については、速やかに上司に報告、スタッフミーティングで共有し対応した。</li> <li>・ 重要な案件は本部に報告し管理運営検討会で改善検討した。盛岡広域振興局には毎月の連絡会議で報告し、対応を協議・検討した。</li> </ul>	A
危機管理体制（事故、緊急時の対応）	<p>次について適切に行われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事故防止の対策</li> <li>・ 緊急事態発生時の対処マニュアル等の整備</li> <li>・ 非常訓練等の実施</li> <li>・ 事故発生時の対応、報告</li> <li>・ 再発防止のための措置等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急時対策・防犯・防災マニュアルに基づき、事故者の保護、応急手当、救急連絡等について、職員全員が対応できるよう確認を行っている。</li> <li>・ 5月23日及び11月17日に、防火訓練、通報訓練、避難訓練、防火教育を職員全員で行い、危機管理意識を高めた。</li> <li>・ 大きな事故等の発生はなかったが、事故防止のために見回りを徹底し危険な箇所にはトラロープを張るなど安全を確保した。</li> </ul>	A
コンプライアンスの取組み、個人情報の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法令遵守への取組みがなされている。</li> <li>・ 公の施設としての公共性、公平性が確保されている。</li> <li>・ 個人情報が適正に管理されている。</li> <li>・ 個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じている。</li> <li>・ 県の承諾なしに、業務を第三者に委託していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 労働基準法等法令、及び県森林公園条例、県暴力団排除条例等を確認し遵守した。</li> <li>・ 4月15日に「個人情報管理について」研修を行い、個人情報の目的外使用、第三者への提供禁止、パソコンデータ等の外部への持ち出し禁止、メール、ファクスの誤送信の注意喚起、書類の施錠保管、廃棄に当たってのシュレッダー処理について注意喚起を行った。</li> <li>・ 県の承諾なしに、業務を第三者に委託していない。</li> </ul>	A
県、関係機関等との連携体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県や関係機関との意思疎通が十分に図られている。</li> <li>・ 緊急時の連絡体制が整備されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月の連絡会議において、管理状況と課題について報告を行い、情報共有を図った。早急な対応を要する事項等については県に報告し、指示を仰いだ。</li> <li>・ 非常時連絡系統図を基に、緊急時には円滑な連絡を取れるよう確認した。また、自衛消防訓練の際には地元消防署への通報訓練もあわせて行った。</li> <li>・ 随時、県より通知される新型コロナウイルス感染対応に基づき、清掃・消毒等の徹底や予防行動の声掛け等を行った。</li> </ul>	A

<p>(施設所管課評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成果のあった点： 職務内容を十分理解した職員を適切に配置するとともに関係機関と連携し、業務を円滑に行った。 緊急時に備えた訓練や新型コロナウイルス感染症拡大防止対応を適切に実施し、利用者の安全確保に努めた。</li> <li>・ 改善を要する点： 特になし</li> </ul>	A
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

(3) サービスの質

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
運營業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の接客態度が良好である。</li> <li>・ 各種事業等が適切に実施されている。</li> <li>・ 施設の管理・運営に必要な研修等が実施されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員は相手の目線に立った接客を徹底した。4月15日に接遇・クレーム対応についても研修を行い、「来場者にまた来たいと思ってもらえるよう、親切・丁寧な心温まるサービスの提供」を心掛けることを再確認した。結果、アンケートでのほか、直接利用者から褒められる機会もあった。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、年間計画に基づき、事故なく各事業を実施した。木工教室や自主行事のほか、春のさくらまつり、秋の紅葉まつりを地元関係機関と連携して開催した。</li> <li>・ 6月13日に、県民の森職員と林木育種場職員が合同で、衛生管理者・安全管理指導専門家、林業技士・チェーンソー指導員、安全衛生指導員の山内達雄氏の指導の下、林業労働安全研修の講義およびチェーンソー・下刈り機使用に係る実技指導を受けた。</li> </ul>	A
利用者サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者ニーズに応じた施設運営状況（利用日・利用時間等）である。</li> <li>・ 積極的・効果的な広報活動を行っている。</li> <li>・ PRに効果的なホームページが作成・運営されている。</li> <li>・ 施設利用等の予約がしやすい。</li> <li>・ 利用者サービスの維持・向上に向けた取組みを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休館日は火曜日とし、週末の家族連れの利用や学校の体験活動等に利用しやすい体制にしている。</li> <li>・ チラシ等は、継続的に各市町村、マスコミ各社や関係機関に配布、掲載依頼を行ったほか、近隣施設等に直接職員が説明し広報活動を行った。</li> <li>・ 近隣宿泊施設や観光協会のイベントと連携し、効果的な誘客を行った。（温泉利用とセットにした行事、さくらまつり・紅葉まつりの連携実施等）</li> <li>・ ホームページやツイッターの積極的な更新（ホームページ年間161回、ツイッター年間808回）を行い、園内や施設情報の発信によるPRを図った。特にさくら・紅葉の時期には細やかな更新で開花・紅葉状況の情報を提供した。</li> <li>・ 令和元年12月から開始したツイッターによる情報発信は、園内情報など毎月平均70件程度の更新を行っており、特に紅葉時期や七滝水瀑の時期は、月90件以上の更新を行っている。園内の様子が随時発信されることから、現在ではフォロワー数も1,330件（前年比577件の増）に</li> </ul>	A

		<p>なっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予約受け付けは電話、窓口、メールで随時受け入れており、必要事項の説明と疑問への回答を行いスムーズな予約を実施した。近隣宿泊施設や観光協会等近隣からの受入依頼も随時受け、利便性を図った。</li> </ul>	
利用者アンケート等	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者アンケート等を積極的にいき、利用者の意見等の把握に努めている。</li> <li>アンケート結果等に対し適切に対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートボックスを複数設置し利用者に意見・感想を求めたほか、行事の際はアンケートを記入していただいた。また、来館者アンケートを記入していただき、利用者要望に対しては、回答を管内の掲示板に掲示し対応した。内容はスタッフミーティング、管理運営検討会で改善検討したほか、毎月の連絡会議で報告し、助言を受けながら管理運営に活かした。</li> <li>なお、アンケート以外にも可能な範囲で利用者に声をかけ、意見等の把握に努めた。</li> </ul>	A
<p>(施設所管課評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成果のあった点： 各種事業を適切に実施した。施設の管理運営に必要な研修を実施し、利用者への適切な対応に努めた。各種メディア等を活用し、特にホームページ及びツイッターを頻繁に更新して、積極的に広報活動を行い誘客に努めた。</li> <li>改善を要する点： 特になし</li> </ul>			A

(4) サービス提供の安定性、継続性

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
事業収支	<ul style="list-style-type: none"> <li>応募段階の収支計画と乖離していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理料については管理運営検討会及び運営連絡会議で都度報告・協議しながら執行し、適正な支出管理を実行できた。</li> <li>物価や光熱水料費の高騰による支出面の影響はあるが、指定管理料を追加頂いたこと、また新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、積極的な行事实施により自主事業の売上げが対前年比 149.9%と回復傾向にあり、毎月の収支を逐次確認し適正な収支を確保できた。</li> </ul>	A
指定管理者の経営状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務状況が著しく悪化していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、当委員会の財務状況に運営上の問題は生じていない。平成 25 年 1 月 4 日から公益社団法人に移行し、緑の募金の運営を中心に公益目的の事業に取り組んでいる。</li> </ul>	A
<p>(施設所管課評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成果のあった点： 概ね計画通りに実行できた。</li> <li>改善を要する点： 特になし</li> </ul>			A



※（注1）県記載欄：「事業計画・県が求める水準」、「評価指標」「施設所管課評価」  
指定管理者記載欄：「実績（自己評価）」

（注2）評価指標

- A：協定書、提案書等の内容について高レベルで実施され、また、計画を上回る実績（効果）があり、優れた管理がなされている。
- B：概ね協定書、提案書等の内容どおり実施され、計画どおりの実績（効果）があり、適切な管理が行われている。
- C：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み、または改善される見込みである。
- D：協定書等の内容に対し、不適切な事項が認められ、改善を要する。

## 8 指定開始年度から評価年度までの総合評価

### (1) 指定管理者の自己評価

#### ① 成果があった取組み、積極的に取り組んだ事項

- 令和4年度も、新型コロナウイルス感染症流行の影響下にあったが、自主事業の行事がマンネリ化しないよう参加者アンケートを参考に内容の検討を重ね、好評だった行事については継続するなど集客につながるよう企画において工夫した。
- 行事の実施においては、「イベント参加・予約時のガイドライン」を作成して感染拡大予防の対策を講じたほか、一般参加の行事については規模を調整しながら開催した。
- 施設の利用においてもガイドラインを作成し、屋内施設への消毒液設置や遊具の消毒、入館時の体温測定、木工体験にパーテーション設置など、感染対策を徹底した。
- 施設利用促進に向け、各市町村、地元観光協会、マスコミ各社等への行事チラシの情報提供と広報掲載依頼を継続して行ったほか、近隣施設等には直接職員が説明を行った。また、ホームページやツイッターによる情報提供はこまめに更新し、季節ごとの園内情報、特にも桜の開花時期・紅葉時期の細やかな情報を提供した。学習館では創作コーナーの品目を増やし、新しい体験ができるよう工夫を続けている。
- みんなの広場のサクラに肥料の打ち込み作業を行い、園内の景観維持に努めた。
- 自主事業で実施している園内散策ツアーや冬の七滝氷瀑ツアーが好評なことから、随時受入できるプライベートルールガイドを受け付け、令和4年度は、計15回実施することができた。
- 近隣宿泊施設や観光協会等と連携し、観光客の県民の森利用について随時受け入れを行った。
- 森林環境サポートセンター事業、県民ボランティアの日事業など、当委員会の本部事業において県民の森園内を活用し、参加者が森林・自然に触れ合う機会や県民の森に興味を持ってもらう機会を提供することができた。
- 県民の森サポーターズ会および本部職員の応援協力体制もあり、職員数は少ないながらも円滑な業務運営を行うことができた。引続き細やかなサービスを提供できるよう体制強化に努める。
- 令和4年度は、第73回全国植樹祭1年前記念イベントが県民の森において開催され、当委員会でも県民の森職員と共同でブースを構え広報活動を行ったほか、植樹用のアジサイ苗木を提供した。多くの一般県民に対し、令和5年度の全国植樹祭開催及び前回開催地である県民の森をPRすることができた。

#### ② 現在、苦慮している事項、今後、改善・工夫したい事項、積極的に取り組みたい事項

##### 【苦慮している事項】

- 施設設備や備品の老朽化により、年々修繕箇所は増加しており、指定管理料での対応が難しくなっている。先に提出している修繕箇所リストに基づき、修繕等進められているものの、高額な費用を要するものも多く時間がかかる傾向にある。チップボイラーも完成したが、他の施設のボイラーと同じように運転できる状況までは課題が多く、石油燃料も高騰傾向にあることから、冬季の利用者の利便性確保に苦慮している。また、各関係機関の協力により円滑な業務運営はできているものの、職員に対し十分な給与待遇を確保しづらく、予算配分に苦慮している。

##### 【改善・工夫事項】

- 学習館の利用促進に向け、Twitter やテレビ・新聞による情報発信に力を入れた結果、多くの方に利用していただいたが、今後もより一層利用者のニーズに沿った対応ができるよう、県と協議検討を継続していきたい。
- 行事参加者における新規参加者の割合が増えた反面、リピーターに飽きられない行事企画等が必要とされる。現体制で可能な範囲で行事内容を検討し、近隣宿泊施設等との連携を行いより魅力的な行事を開催していきたい。
- 引き続き、新型コロナウイルスの影響により、行事の実施、および参加者の確保が困難になると予想される。参加者の制限や誘導等、可能な範囲で行事内容を検討し、実施していきたい。

##### 【今後の取り組み事項】

- 令和4年度は、森林公園設備更新工事により、遊歩道の舗装や木育コーナーの導入等がなされたので、引き続きより多くの県民に利用して頂くため、随時サービス内容の検討を重ねていく。

③ 県に対する要望、意見等

- ・ 森林公園としての県民の森全体の将来像について、中・長期的な計画を一体となって検討する必要があると思われる。第 73 回全国植樹祭開催を契機として、県民の森の森林整備及び施設整備が計画的に確実に実施されるようお願いしたい。
- ・ 物価高騰、施設の老朽化、人件費の高騰等の社会情勢から、全体の指定管理料の配分について適正な予算確保をお願いしたい。
- ・ 先に提出している県民の森施設及び備品等で修繕・補修が必要なもののリストを中心に、計画的な修繕、更新等についてご配慮頂きたい。
- ・ 今後も突発的な施設破損や、新型コロナウイルス対応の長期化等管理・運営上支障となる案件の発生は予想されることから、再度、県民の森施設が閉鎖となる等不測の事態が起きた場合でも、これまで通り迅速な連携を図りながら適切な指定管理事業が推進されるようお願いしたい。

(2) 県による評価等

① 指定管理者の運営状況について

- ・ 計画に基づき適切に管理・運営を行うとともに、サービスの質や安全性の向上に努めた。
- ・ 季節ごとに県民の森の環境を活用した魅力あるイベントを企画し情報発信を行った。施設利用者数は、昨年度比で 123.6%となり、令和 2 年度から回復傾向となっている。
- ・ ホームページやツイッター等での即時的で積極的な広報活動を行うことにより誘客に努めた。また、地域の団体等と連携し、施設の利用促進を図った。
- ・ 突発的な施設破損や新型コロナウイルス拡大防止対応など、管理・運営上支障となる案件が発生したが、利用者の安全、利便性に配慮し、臨機応変に対応した。

② 県の対応状況について（自己評価）

- ・ 指定管理者が月 1 回開催する運営連絡会議に出席し、管理・運営状況の把握、情報共有に努めた。また、突発的な事案については、指定管理者から報告・相談があった都度対応した。
- ・ 施設・設備の修繕等について、利用者等の安全性及び施設の快適性を考慮し、優先度の高いものから実施している。しかし、予算の都合により全てには対応できていない。

③ 次期指定管理者選定時における検討課題等

- ・ 経年劣化により修繕が必要な施設・設備が多数あり、計画的な修繕が必要となっている。

9 改善状況等

改善を要すると評価された項目（C、D評価の項目について）
改善状況
（指定管理者から県への報告年月日： 年 月 日）
改善状況の確認
（再評価年月日 年 月 日）